

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

秋吉台

ようやく秋らしく…散策のすすめ

長く続いた残暑も10月に入ると急に涼しくなったというよりも、朝夕は肌寒さを覚えるほどです。とはいえ日中は秋吉台を歩くとうっすらと汗がにじみます。旧牧草地はセイタカアワダチソウが広がって大きな黄色いハートのようにも見えます。そしてアキヨシアザミは石灰岩の岩陰に紅紫色の花を開き始め、ヒメヒゴタイは草原の中からスーッと立ち上がるようにしてここかしこに咲いています。草をかき分けるとウメバチソウの白くて可愛い花が見えます。秋はまだまだ始まったばかりです。これから秋の散策がおすすめです。



季節の花

猛暑に耐えて待っていた秋

ナギナタコウジユ 明るい林縁や荒れ地などにも生えるシソ科の1年草。花穂の片側だけに淡紅色の小さな花が1列に密に並んでつきます。このようすが薙刀に似ていることからの命名です。

ハナヤクシソウ 野原や明るい木陰、道路沿いにも生えるキク科の多年草。花を含め全体にヤクシソウに似ていますが、本種は葉が羽状に裂けるのが特徴です。多年草なのですが、翌年も同じ場所で見ることはないようです。

タカネハンシヨウヅル 林縁などに自生するキンポウゲ科のつる性低木。花は紅紫色で下向きに咲き先は反り返ります。例年見ている場所は道路整備で刈り取られてしまうことがありますが、今年は少し奥の方で咲いてくれました。



花の観察会「花盗人の花日記」(10月26日)

秋の花の観察会「花盗人の花日記」を行いました。長者ヶ森駐車場に集合して、ここから地獄台へと向かいました。リンドウやアキノキリンソウなどが咲き始めています。細くて急な遊歩道を登り始めると、鮮やかな淡紫色のムラサキセンブリがお出迎えです。センブリはまだ咲いていないだろうと思っていたら、誰かが発見。きれいなセンブリです。帰途は地蔵峠をまわりたくさんのウメバチソウを観ました。



クロヤツシロラン

よくぞ発見！！

杉や竹の林などに生える多年草の腐生植物です。全体に茶褐色で、草丈は3cmほどで小さいのですが、花は直径2cm、花期は9月から10月で、1つの花の期間は短いようです。先日、花の観察でお世話になっている知人から見せたい花があるとのこと、ご一緒させていただいたのがこれでした。今までこんな花の存在さえも知らなかったもので、ドキドキしながら写真を撮影しました。広い秋吉台です。まだまだ発見されていない花もあることでしょう。



ウマノスズクサ

面白い花よりも珍しい果実

ジャコウアゲハの幼虫の食草であるウマノスズクサ。今年はジャコウアゲハが産卵したものの、わずか2~3匹が幼虫となっただけだったため、ウマノスズクサが食べてしまわれることなく大きく成長して果実をつけました。花はたくさん咲くのですが、なかなか結実はしません。果実は3個見つけましたが、いずれもツルが4m~5mと長く成長した先端部です。



11月の行事

ミニ写真展「紫日記・ムラサキの成長記録」
11月 6日~12月26日

- 11月 2日(土) 体験学習会「美東ゴボウの収穫体験」
秋吉台特有の赤土で育った「美東ゴボウ」の収穫を体験します。
- 11月30日(土) 観察会「冬眠中のコウモリを見る」
洞窟で冬眠中のコウモリのようなすをそっと観察します。